

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公開番号】特開 2018-168657 (P2018-168657A)

【公開日】平成 30 年 11 月 1 日 (2018.11.1)

【年通号数】公開・登録公報 2018-042

【出願番号】特願 2017-68952 (P2017-68952)

【国際特許分類】

E 0 2 F 9/22 (2006.01)

F 1 5 B 11/02 (2006.01)

F 1 5 B 11/028 (2006.01)

【F I】

E 0 2 F 9/22 E

F 1 5 B 11/02 M

F 1 5 B 11/028 C

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 21 日 (2020.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

(コントローラ 3 0 による電磁切換弁 8 A の制御の変形例)

図 6 はコントローラ 3 0 が実行する電磁切換弁 8 A の制御処理の手順の変形例を示すフローチャートである。この変形例では、回路圧 P がクラッキング圧 P_c 以上になってから所定時間経過した場合に、電磁切換弁 8 A をオンにする点に特徴がある。具体的には、図 6 に示すように、メイン流路 F 1 とサブ流路 F 2 との合流が開始すると、回路圧判定部 3 1 は回路圧 P がクラッキング圧 P_c 以上であるか否かを判定する (S 1 1)。S 1 1 で Y e s の場合には、図示しないタイマーが作動し、回路圧 P がクラッキング圧 P_c に到達してからの経過時間 t が計測される。アンロード指令出力部 3 2 は、経過時間 t が所定時間 t₁ 以上であるか否かを判定する (S 1 2)。S 1 2 で Y e s の場合、アンロード指令出力部 3 2 は電磁切換弁 8 A に作動指令を出力して電磁切換弁 8 A をオンにする (S 1 3)。そして、メイン流路 F 1 とサブ流路 F 2 との合流が解除される。一方、S 1 1、S 1 2 のそれぞれで N o の場合にはそれぞれ S 1 1、S 1 2 に戻る。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

第 3 実施形態では、アンロード機能がオフで電磁切換弁 6 B が閉となるため、サブポンプ 5 から吐出される圧油はベント付きリリーフ弁 7 B のベントポートを介してアンロード切換弁 6 A に導入される。これにより、アンロード切換弁 6 A は位置 a に切り換わり、メイン流路 F 1 とサブ流路 F 2 とが合流する。この状態において、回路圧 P がクラッキング圧 P_c になるとベント付きリリーフ弁 7 B から徐々に圧油がタンク 1 3 にリリーフされる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 19】

